

研修のねらい

- チームワークを発揮するために必要な知識を習得します。
- チームワークの発揮に不可欠なコミュニケーションを、演習を通して習得します。
- チームに貢献するために必要な、期待役割の理解と具体的な行動計画を考えます。

部署の中で共通業務が多い部門と少ない部門では、チームワークの発揮の仕方が異なります。地方自治体は、職場ごとに業務上の特性があり、その特性に応じたチームワークの発揮の形が存在します。

自部門の特性に合ったチームワークの発揮の仕方について体得するには、まずはチームワークとは何なのかを理解し、相互理解と相互支援のあり方を理解する必要があります。その上で、チームワークの発揮に不可欠なコミュニケーションについて、演習を通して習得します。

また、チームワークを発揮するためには、組織や上司からの期待役割を正しく理解することが必要です。職位上または組織の状況から、自身に何を期待されているのかを正しく理解し、今後のチームワーク発揮のための行動計画を検討します。

本研修は、多くの演習を通して、自部門の特性や状況に合わせたチームワークの発揮の方法を具体的に検討する、実践的な内容です。

※ 下記の内容は一例です。ご要望にあわせてカリキュラムをご提案いたします。

1日コース

		1日コース	
午前	1. チームワークとは (1) チームワークとは	◇ グループワーク ◇ 「チームワークとは」	2. 相互理解・相互支援 (1) 相手を理解する
	(2) チームの形態とチームワークのメリット (3) 職場のチームワークを点検する	◇ 個人ワーク・グループ共有 ◇ 「チームの現状と課題」	(2) 支援を考える
午後			(3) 相互支援のための仕組みを考える
	3. チーム活性化のコミュニケーション (1) 職場のコミュニケーションの特徴 (2) 行動特性からコミュニケーションを考える	◇ グループワーク ◇ 「行動特性とコミュニケーション」	4. チームに貢献するために (1) 期待されている役割を考える
	(3) 協調性を発揮する	◇ ケースワーク ◇ 「協調性」	(2) フォロワーシップを発揮する
	(4) アサーティブな伝え方	◇ ケースワーク ◇ 「アサーティブコミュニケーション」	5. まとめ